

こうほくふるさとだより

2021年10月号



こうほくふるさとだよりとは

こうほくふるさとだよりは

『佐賀県江北町(こうほくまち)』が発行するフリーペーパーです。

江北町にご縁がある皆様に、町の話、取り組みなど、町に関係のあるヒト・モノ・コトをご紹介します。

江北町の魅力をお伝えし、皆様の「ふるさと」のように身近に感じていただければと思っています。



江北町のこと

江北町は、佐賀県のほぼ中央にある人口1万人弱の小さな町です。

JR長崎本線、佐世保本線の分岐点であること、県内どこにでもアクセスしやすい道路状況など、通勤、通学といった交通面で利便性が高いです。

また、国道沿線には

商業施設や飲食店などの店舗が立ち並び、大きな道を少し離れると歴史ある風景や田園風景が広がります。

都会過ぎず田舎過ぎず、

便利にのんびり暮らすにはちょうどいい町です。



町のイメージキャラクター ヘそがえるピッキーファミリー
ピッキー(左)、子ピッキー(中央)、ピンキー(右)

こうほくふるさとだより

2021年
10月号

>>>> 2022年、江北町は70周年を迎えます >>>>

また、西九州新幹線も暫定開業することから、4つの基本方針に基づき、駅を活用したまちづくりに取り組んでいます！

1 駅南北自由通路の リニューアル

2022年秋、西九州新幹線の暫定開業に合わせた機能強化も含めて、自由通路をあたたかい雰囲気にリニューアル

2 駅北テナシヨップ の設置

駅北口の賑わいを生み出し、JR利用客等の幅広い集客、さらなる地域活性化を目的に、テナシヨップを設置します

3 ありがとう「肥前山口駅」 ようこそ「江北駅」

駅名を「江北駅」とし、将来にわたり「江北」という歴史ある地名を引き継ぎ、認知度向上と新時代における地域活性化を図ります。

4 各種団体による 記念イベントの実施

暫定開業と町制70周年が重なる2022年にかけて、各種団体の町を盛り上げるイベントの実施をサポートします。



江北町長の山田恭輔です。
それぞれの事業については、
今後詳しくお知らせさせていただきます。
ぜひ、ご期待ください。

まちのトピック

花祭地区の彼岸花の様子が動画になりました！

江北町花祭(はなまつり)区では、あぜ道いっぱいの彼岸花を植栽しており、見ごろを迎える秋ごろには多くの観光客が足を運んでいます。

この時期、彼岸花祭りを開催し、観光客のおもてなしや物販を行います。前年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、祭りの開催はあいにくの中止となりましたが、元気に花開く彼岸花の様子が映像に収められています。

満開に咲き誇る彼岸花は、Youtubeでご覧になることができます。

皆さまも、ぜひご視聴してみてください！



動画リンク(Youtube)

秋の宮中行事「新嘗祭」に、町内から献穀します

6月12日(土)、杵島東部カントリー東側の斎田で、新嘗祭献穀の御田植式が行われました。江北町としては、約30年ぶりの献穀行事であり、八町地区在住の武富和也さんが佐賀県の代表として献穀農家に選ばれ、佐賀県の奨励品種「夢しずく」の栽培管理を行っています。

御田植式では、大江神大神宮の宮司による神事のあと、八町地区の小学生及び運営委員ら18人が一列に並び、約20アールの献穀田に青々と育った早苗を植えていきました。

今後、9月中旬に抜穂(ぬいぼ)式を行い、10月下旬には精米1升を皇居へ献納する予定です。



献穀農家の
武富さん
ご夫婦

全国のこうほくくんもん! Vol. 1



～全国の江北出身者の紹介～

愛知県在住の鈴木です。
「こうほくふるさとだより」の発行にあたって、第1回目の江北出身者の紹介を私に、との事で大変恐縮しております。

私が江北町に第1歩を踏み入れたのは、昭和21年の初夏のことでした。
熊本の小学校からの転校手続きで、父と町役場や小学校を訪れた帰り道。お堀の浮草から何か音がしているのを聞いて、父からタニシと教えられ、ブリキのバケツを買いに戻ったのを覚えています。

タニシを食べたかどうかは記憶にないですが、当時の田園風景が懐かしく思い出されます。

江北町に約11年住み、名古屋に出てきましたが、ふるさととは江北に有りです。友人も小学校、中学校と9年間の多感な少年期が一緒ですから、皆と仲が良かったですね。

江北町は過去、石炭産業で大変な時期を迎えたこともありましたが、今は非常に落ち着いた良き町に発展していると感じています。賢明な江北町の住民の人たち、そして行政を司るリーダーシップの賜と存じている次第です。

江北町は西九州地区の交通の要衝でもあり、農産品の流通にも適し、益々の発展が期待できると信じております。



鈴木氏略歴 >>>

幼少期を江北町で過ごし、経理学校卒業後、愛知県で信頼と実績を積み重ねる。

昭和46年に工業ファスナー専門商社「中部ファスナー」(現エフシーテック)を愛知県に創立。海外進出等、会社は大きく成長し、令和3年に創業50周年を迎える。

現在は会長職。座右の銘は「為せば成る」。

あなたもご紹介させてください！自推・他推どちらもOK！

☆お申込みは江北町役場地域振興課(chiiki@town.kouhoku.lg.jp)まで☆

こうふく 江福食堂開催！旬の農産物はいかが？

町内若手農業者グループ「ベリーボタン」が江福食堂を初開催しました。
江福食堂は、町内産の旬の農産物を作る生産者と、それを使った町内料理店、両者の想いやこだわりを一度に楽しむことができるイベントです。

記念すべき第1回目の江福食堂の主役は夏が旬のアスパラガス。あっという間に売り切れたため、日を改めて再販売が行われるほどの盛況でした。

江北町にお越しの際は、ぜひ、町自慢の旬の野菜をご賞味ください！



ベリーボタン Instagram

▼ 献穀農家のお米もあります！江北町の応援はこちらから ▼

さとふる

江北町

検索

ふるさとチョイス

あなたの意思をふるさとに

江北町

Rakuten

楽天 江北町ふるさと納税